

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年6月1日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3990500013
法人名	合同会社 まんさくの里
事業所名	グループホーム まんさくの里
所在地	〒781-1153 高知県土佐市塚地331-1
自己評価作成日	平成22年1月27日
評価結果市町村受理日	平成22年6月7日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成22年2月12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3990500013&SCD=320
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ホームの名称は、山で根強く育つ「まんさくの木」にちなんで地域に密着して地元の方に親しまれるようにと、「まんさくの里」と名づけました。温かな家庭を目標に、地域の方々が気軽に立ち寄り、入居者一人ひとりが主役となり、の笑顔が絶えることのない家づくりを目指し、入居者のご家族とも連絡を密に取り合い、家族同様に共に支え合いながら支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

市街地から少し離れ、周囲には小高い山や農地が広がる静かな環境に恵まれた木造平屋建の事業所である。居室の窓にはカーテンを使わず障子紙を使用するなど、家庭的な温もりがあり、職員は利用者と家族同様に接している。また、協力医や訪問看護師と連携して日々の健康管理にも配慮し、地域住民や小学校との交流、ショッピングセンターでの買い物など、利用者は安心感を持って暮らし、地域にも溶け込んでいる。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域住民や家族の方々が、我が家として気軽に立ち寄れるような雰囲気を作り、笑顔を決やさず、お互いのコミュニケーションを図る理念を掲げ、日々のケアに取り組んでいる。	事業所独自の理念について、職員会などで話し合い、職員に意識づけ、日々のサービス提供場面では、家庭的な雰囲気を大切にしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域出身の職員もおおり、地域活動をはじめ、地域の方々との触れ合いを大切にして交流を深めている。	リサイクル活動や清掃など、地域活動に参加している。また、小学生との交流や、地域の方がボランティアで調理に来てくれたり、野菜や果物等のおすそ分けがあるなど、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の店、良心市等に利用者と一緒に出向き、理解と支援等をいただいている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的を開催し、家族や地域の役員さん保健師等に現状報告を行い、意見交換を重ね情報を得てサービスの向上に努めている。	事業所や地域役員からの報告が主で、他の参加メンバーからの意見や質問等はあまりなく、また、評価結果について報告されていない。	評価結果や改善の取組み等について会議の議題に取り上げ、意見や提案を受けて運営に反映させるなど、運営推進会議を有効に活用するとともに、双方向的な会議となることを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村の主催する研修にも可能な限り参加し、サービスに関して不明な点など、担当者に相談し、質の向上に努めている。	市町村主催の研修に参加するほか、担当者との連絡は密で、疑問や相談があれば電話をしたり窓口へ出向いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束禁止項目について、研修や勉強会で理解を深め、拘束をしないよう徹している。日中は玄関は施錠せず、外出の傾向をつかみ、声かけや見守り支援をしている。	玄関は夜間（19時～7時）施錠しているが、日中は開放している。利用者の外出傾向は少ないものの職員の見守りを徹底している。また、身体拘束に関する研修を受けたり、その伝達研修を行い、その弊害を理解したうえで、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の実態や防止について資料を見ながら内部研修を実施し、日々のケアのなかで、見過ごされないよう職員間で注意し合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社協や福祉関係、地域包括支援センターと情報を共有するなど、制度については理解している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前にご家族には契約書類や重要事項説明書類を提示し十分に説明し、納得いただいたうえで、契約している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に家族の参加もあり意見を聞く機会を設けている。また、家族の来訪時には話しかけ、意見や要望等を汲み取り、運営に反映させるよう心がけている。	クリスマス会や忘年会などの催しの機会に家族会や家族同士の集まりがある。手紙等で事業所からの問いかけを多くしているが意見や要望は少ない。	事業所へ直接意見や要望は出しにくいことを理解し、家族同士のみで話し合う機会を設け、意見等を出してもらう仕組みを作るなど、工夫することを期待したい。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度の職員会で意見交換ができるような場を作っている。また、運営者や管理者は日常的に職員の声を聞くように努めている。	毎月の職員会や日々のミーティングの機会を捉えて、職員の意見や提案を聞くようにしている。出された意見等は職員で話し合い、できることから運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与水準、やりがい等の条件整備など、向上心をもって働けるように配慮している。また、家庭的な職場であり職員全員が和を持って就業できるように努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	援助する姿勢で取り組んでいるが、研修を受ける職員は限られている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	ホームでの敬老会、忘年会等の行事には他の事業所に案内をし、また、他の事業所のイベントに招待されるなど、行事を通じて交流し、運営に取り入れている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人と面談して要望や不安な点を聞き、自分を理解してもらっているという安心感を持ってもらうなど、信頼関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の希望、要望には極力応えるようにし、今までの生活状況と極端に変化のないように工夫している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族のニーズを受け止め、事業所でのサービスやその他のサービスを見極め、情報提供をしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で本人の日頃の行動や性格等を理解し、共に暮らす家族のような関係を築くよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との情報交換を密にし、本人への対処や変化に早めに対応するなど、共に支え合っていく関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人との交流が途切れないように、地域の運動会、敬老会、クリスマス会等に参加したり、電話、手紙や面会の受け入れなどの支援に取り組んでいる。	電話や手紙による来訪依頼等、利用者の馴染みの関係継続を支援している。また、入居前に住んでいた地域への外出なども支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者が孤立することなく、それぞれの居場所を確保し、レクリエーション等を通じて支え合っているよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	お見舞いや、亡くなられた場合の通夜、葬儀への参列など、関係を大切にしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の日々の言動や表情などから、思いや希望を汲み取り、困難な場合は、家族等から情報を得て、職員同士で検討している。	入居時に把握している趣味等を踏まえ、日々の関わりの中で利用者との会話や表情の観察により、その時何をしたいか、その意向を把握するようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時に今迄の生活や過ごしてきた環境などを伺うようにしている。また、日常の暮らしの中で、本人や家族の話から情報を得ている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>夜勤明けの職員より申し送りを受けて、個々にバイタルチェックを行い、心身状態を把握するようにしている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>利用者一人ひとりに担当職員を当て、本人、家族の意向を把握するように努め、担当職員、ケアマネジャーを中心に他の職員、管理者、担当医師と意見交換をし、ケアプランを作成している。</p>	<p>利用者や家族の介護に対する意向を確認し、担当職員の気づき等を踏まえ、話し合いのうえ、介護計画を作成している。基本的には3カ月毎に見直し、変化があればその都度現状に即して作成し直している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子は個別に記録し職員全員が常に目を通し共有するようにしている。また、特記事項は業務日誌や連絡帳に記載して申し送っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人の心身の状態を常に把握し、変化が生じた時は家族に報告、相談し家族の意向に沿えるように柔軟に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>集会所で月曜日に実施している地域のいきいき百歳体操に数名参加している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医の2週間に1回往診があり、心身全般にわたり診察を受けている。本人、家族の希望を常に聞き、必要に応じて他の医療機関を紹介してもらい、連携を取っている。</p>	<p>入居時に家族の判断で協力医をかかりつけ医とし、定期的に往診を受けている。歯科医の往診もある。希望があれば他のかかりつけ医への通院も職員が付き添っている。受診結果は家族へ報告し共有している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>常勤の看護職員と介護職員が連携して対応するとともに、訪問看護師に日頃の状況を伝え、相談している。必要に応じて協力医と連携している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院した場合は、かかりつけ医が担当医や病院関係者と相談し、連携している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合は、かかりつけ医とも連携し、家族の意向や要望を聞き、方針を共有して出来るだけ希望に沿えるように支援している。</p>	<p>重度化した場合の対応指針を作成している。利用者と家族の思いを確認して、医師、職員が連携し納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。看取りの事例はあるが、意思確認書は作成していない。</p>	<p>重度化または終末期に対する思いは、状況、段階に応じて変化するものであり、方針に関する家族の意思確認と職員が共有するためにも、意思確認書を作成しておくことを期待したい。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時や事故発生時のマニュアルを常置し、定期的実施訓練等を行い、対応力をつけている。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時に備え避難訓練を定期的実施し、地域の避難場所も確保している。</p>	<p>避難訓練は定期的実施しているが地域住民の参加は得られていない。避難路の確保や消火器の点検、飲み水の備蓄はできているが非常用食料や備品等の備蓄は、高知県社会福祉施設地震防災対策マニュアルに示された3日分の目安に対しては少ない。</p>	<p>災害時には地域住民の協力が不可欠であり、運営推進会議を通じて参加を呼びかけるとともに、非常用食料等は、高知県社会福祉施設地震防災対策マニュアルを参考に検討することを期待したい。</p>
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>一人ひとりの過ごしてきた生活を把握し、人格を尊重しプライバシーを損なわないように努めている。</p>	<p>利用者一人ひとりの人格を尊重し、本人の気持ちを大切にケアに取り組み、人前での介助の声かけ等は、さりげなく行うよう配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が自己決定できるように、趣味や好むことを話題に話しかけるなど支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、就寝時間はもとより、食事時間等も本人の希望を大切に、個々に合わせて支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服装や髪型等は本人や家族の要望を聞き、支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	10時のコーヒータイムに食べ物のお話を出し、利用者の希望を料理に反映するよう努めている。また、準備も食材切りなど、利用者ができることを職員と一緒にしている。	利用者の食べたい献立を聞き出して希望に沿えるようにしている。食事の準備等ができる利用者には、食材切りや食器洗いなど、一人ひとりの役割を担ってもらっている。利用者と職員は同じ物を会話しながら楽しく食べている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎月の体重測定や、3～4カ月毎に血液検査を行い、協力医と相談のうえ、食事量や栄養バランス、水分量の確保に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを促し自力で難しい方には職員が援助し徹底している。毎月、歯科検診を受け歯科医より指導を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	1日の流れの中で時間を決めてトイレ誘導をしている。自立している方でも定期的に点検させてもらい清潔を保つように支援している。	排泄パターンを把握し時間を決めてトイレへ誘導し、おむつやパットはできるだけ使用しないように職員間で話し合い、トイレでの排泄を工夫している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表で全員の排便状態を把握し、食事内容や水分摂取、運動などに配慮している。必要に応じ、協力医に相談しながら本人に合った緩下剤を投与している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の希望やタイミングに合わせて入浴支援をしているが、時間帯は限られている。（夜間は支援できない）	言葉かけや対応を工夫して、全員が2～3日に1回入浴出来ている。希望する方には毎日でも対応できる体制を整えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心 して気持ちよく眠れるよう支援して いる	本人の心身の状態や意思に応じて 居室で自由に休息できるようにして いる。温度管理等に配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の変 化の確認に努めている	ケース記録の中に処方箋説明書を 挟み、職員全員が目を通し把握す るようにしている。また、服薬の変 更があれば連絡帳に記載して申し送 っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 せるように、一人ひとりの生活歴や 力を活かした役割、嗜好品、楽しみ ごと、気分転換等の支援をしている	毎日の暮らしが張り合いが持てる ような役割分担をしている。利用者 一人ひとりの状況や意向に応じ、支 援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力しなが ら出かけられるように支援している	季節毎にドライブ出かけ、名所見 物など支援している。また、日常的 な散歩のほか、希望に応じて買物に 同行している。	希望によりショッピングセン ターに買い物に出かけるほか、コ スモス畑、飛行場、花街道など、 季節毎のドライブに出かけてい る。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人のお金は事業所で預かり、要望に応じ自由に使えるようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>自由に電話や手紙のやり取りができるような態勢は整えているが、希望する人は、ほとんどいない。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングや廊下には、季節感を味わせる展示物や写真を掲示し、話題作りの引出しになっている。また、ホールの中央に台所があり、食事の準備をしている様子が良く分かり、音や香りにより食事時間帯や空腹感を味わうことができる。</p>	<p>玄関や廊下は家庭的で季節感のある飾り付けがされている。また、居間、食堂、台所がワンフロアになっており、調理の様子や匂い等が家庭的な雰囲気を醸し出している。静かなBGMが流れ居心地の良い雰囲気づくりの工夫をしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の合った方同士で過ごしたり、庭先に出て椅子に座り景色を眺めて過ごすなど、思い思いに過ごせるよう配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に本人や家族の気に入った家具や使い慣れた品物を持ってきてもらうなど、居室環境は自由に行っている。</p>	<p>使い慣れた鏡や化粧道具等、馴染みの物や、家族の写真等を飾り、利用者の今までの暮らしと繋がりが感じられる居室づくりに配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>玄関、廊下やホールには手すりを設置し利用者が安全に移動できるようにしている。また、トイレは車椅子でもゆったり入れる広さを確保し固定手すりや可動手すりなど安全対策にも配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域住民や家族の方々が、我が家として気軽に立ち寄れるような雰囲気を作り、笑顔を絶やさず、お互いのコミュニケーションを図る理念を掲げ、日々のケアに取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域出身の職員もおり、地域活動をはじめ、地域の方々との触れ合いを大切にして交流を深めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の店、良心市等に利用者と一緒に出向き、理解と支援等をいただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的開催し、家族や地域の役員さん保健師等に現状報告を行い、意見交換を重ね情報を得てサービスの向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	市町村の主催する研修にも可能な限り参加し、サービスに関して不明な点など、担当者に相談し、質の向上に努めている。		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	身体拘束禁止項目について、研修や勉強会で理解を深め、拘束をしないよう徹している。日中は玄関は施錠せず、外出の傾向をつかみ、声かけや見守り支援をしている。		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	虐待の実態や防止について資料を見ながら内部研修を実施し、日々のケアのなかで、見過ごされないよう職員間で注意し合っている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	社協や福祉関係、地域包括支援センターと情報を共有するなど、制度については理解している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前にご家族には契約書類や重要事項説明書類を提示し十分に説明し、納得いただいたうえで、契約している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に家族の参加もあり意見を聞く機会を設けている。また、家族の来訪時には話しかけ、意見や要望等を汲み取り、運営に反映させるよう心がけている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度の職員会で意見交換ができるような場を作っている。また、運営者や管理者は日常的に職員の声を聞くように努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与水準、やりがい等の条件整備など、向上心をもって働けるように配慮している。また、家庭的な職場であり職員全員が和を持って就業できるように努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	援助する姿勢で取り組んでいるが、研修を受ける職員は限られている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	ホームでの敬老会、忘年会等の行事には他の事業所に案内をし、また、他の事業所のイベントに招待されるなど、行事を通じて交流し、運営に取り入れている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人と面談して要望や不安な点を聞き、自分を理解してもらっているという安心感を持ってもらうなど、信頼関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の希望、要望には極力応えるようにし、今までの生活状況と極端に変化のないように工夫している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族のニーズを受け止め、事業所でのサービスやその他のサービスを見極め、情報提供をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で本人の日頃の行動や性格等を理解し、共に暮らす家族のような関係を築くよう努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との情報交換を密にし、本人への対処や変化に早めに対応するなど、共に支え合っていく関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人との交流が途切れないように、地域の運動会、敬老会、クリスマス会等に参加したり、電話、手紙や面会の受け入れなどの支援に取り組んでいる。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者が孤立することなく、それぞれの居場所を確保し、レクリエーション等を通じて支え合っているよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	お見舞いや、亡くなられた場合の通夜、葬儀への参列など、関係を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人や家族と話し合い、できるだけ希望に沿うように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活環境を把握し、本人から昔話等を聞くなど、コミュニケーションが取れるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝のバイタルチェック時に声がけしその日の調子を、職員同士確認する。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当職員が中心となりモニタリングで意見交換を重ね、介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	実践に対しての反応や様子は、口頭はもちろん、個別記録にできるだけ詳しく残し、職員間の共有や今後の参考に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の意向に沿って、事業所で対応できることは柔軟に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の方を行事に招いたり、地域の行事に出向くなどしてつながりを持っている。散歩時には挨拶をして顔見知りになることも大切にしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に家族の希望を聞き、家族の協力も得ながら、要望どおりのかかりつけ医を受診するようにしている。</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員が4名在籍しており、介護職員からの情報も交え早期に対応している。また、訪問看護ステーションと契約し、定期的に訪問看護を受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院することで生活環境に変化が見られ十分な治療が受けられず早期に退院となりホームに帰られる方もおり、病院関係者との情報交換や相談に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の意見を尊重し、かかりつけ医とともに常に相談し話し合っている。また、看取りの指針に基づき家族の希望に沿って訪問看護と連携し看取りを行った例もある。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の対応は勉強会を行っているが、応急手当の初期対応は職員全員が完全に把握はできておらず、早期に対応できるように努めたい。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の指導を受け災害等の訓練を実施し、ホームでは自主訓練も行っている。また、地元の消防団の協力も得られるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	夜間以外は自室に引きこもることのないよう声かけし、共同生活の中で誇りやプライバシーを損ねないケアを心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が自己決定できるように、趣味や好むことを話題に話しかけるなど支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	集団生活における最低限のルールは守っていただきながら、本人のペースでゆっくり過ごしてもらうよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髭剃り、散髪は定期的に美容院に行ったり、職員が実施したりして身だしなみは整えている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食欲旺盛で食事を楽しみにしている方が多いのでバラエティーに富んだメニューになるよう心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は栄養バランスを重視し、栄養が偏らないように注意している。水分は何回もに分けてまめに補給するようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	昼、夕後の歯磨き、うがいは徹底してできているが、朝食後は職員の人数が少ないことと、拒否するケースがあり、十分支援できていない。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	1日の流れの中で時間を決めてトイレ誘導をしている。自立している方でも定期的に点検させてもらい清潔を保つように支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘気味の方は緩下剤を服用し排泄チェック表にて確認、チェックしている。食物繊維の多い野菜をメニューに取り入れるなど工夫している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の希望やタイミングを見計らい定期的に入浴できるように援助しているが、時間帯は限られ、自由な時間には入浴できない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心 して気持ちよく眠れるよう支援して いる	夜間、寝つきの悪い方には午睡を すすすめたりして睡眠時間を確保する ようにしている。出来るだけ本人の 意思を尊重し意に沿うように努めて いる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の変 化の確認に努めている	処方箋説明書を全員が熟知して把 握するようにしている。変更がある 場合は連絡帳にて確認し、服薬の支 援をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活歴や 力を活かした役割、嗜好品、楽しみ ごと、気分転換等の支援をしている	各自が得意とする事を見極め、そ れぞれのお手伝いをしてもらって いる。(下膳、野菜の仕分け、洗濯た たみ等)		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力しなが ら出かけられるように支援している	暖かい日はできるだけ庭先に出て 外気浴を楽しむようにしている。た まにドライブや買い物に行き気分 転換を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人で所持することを本人、家族共に希望されている方がいないため、事業所で預かっている。必要な時はいつでも出している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>定期的に家族に電話をかけている利用者もおり、希望に応じて支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>清潔さをモットーに日々の掃除に気を配っている。共同空間にすることが多いため、共有の家具はアルコール消毒して衛生面に気を配っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>全室個室でプライバシーを確保できるようにしている。共用空間の中で独りになれる場所の確保はできていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には本人の馴染みのある家具や品物を持参していただき、本人の希望するものがあれば家族に相談し必要に応じて購入していただき居心地の良い空間作りに努めている。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	居室の入口には表札を掛け自室がわかるようにしている。カレンダーも目に付く所におき現在の月日を確認できるようにしている。		

V アウトカム項目		ユニット名： (りんどう・ききょう)	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない